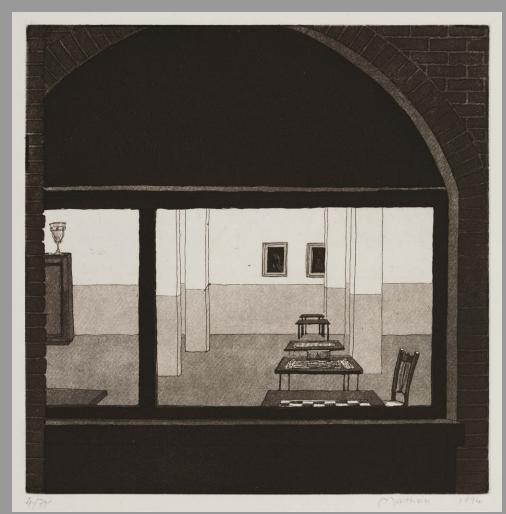
essai avant acierage par artiste

Collection

2022年 1月15日[土]~5月8日[日]

扉

hamagueh



ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 二〇二二年 新春の企画展

休館日 開館時間11時~17時(土日祝10時~17時 最終入館16時半) 大人 六〇〇円/大学生·高校生 四〇〇円/中学生以下 無料 月曜日(ただし3月21日(祝)は開館)、3月22日(火)

Yozo Hamaguchi • Bruno Mathon Joint Exhibition - A Door One Ahead -

Closed_Mondays (expect 21 Mar.) 22 Mar

Museum Hours_11:00 a.m. – 5:00 p.m. (entry up until 4:30 p.m.)

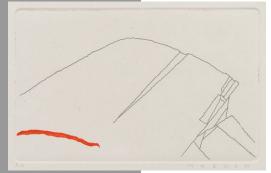
Sat./Sun./National Holidays: from 10:00 a.m.

_Adults : 600yen, College / Senior High School Students : 400yen, Junior High

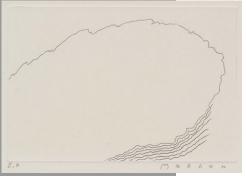
15 January 2022 (Sat.) – 8 May 2022 (Sun.)



☜ もう少し 知りたい方は こちらから



Bruno Mathon 《Compositionより》 2011年 10.5×16.6cm エッチング+彩色、紙



Bruno Mathon 《無題》 2004~2005年 9.7×14.3cm エッチング、紙

浜口陽三(1909~2000)は、フランスで新しい銅版画技術を開拓し、20世紀後半を代表する銅版画家として活躍しました。作品には柔らかな空間が広がり、永遠の時間が流れているかのようです。本展ではその浜口作品と共に、日本の芸術・文化に親しんだフランスの画家の一人、ブルーノ・マトン(1938~2020)の銅版画を紹介します。

ブルーノはパリの映画学校を卒業後、短編映画を手がけましたが、より直接的に表現を追い求める決意をして銅版画を学びます。その後、版画や油彩画、アクリル画などを発表しながら、美術評論を続け、短編小説も出版しました。90年代以降は日本を度々訪れ、「手に思考が宿る」日本の工芸に、西洋の芸術にはない可能性を見出しています。

彼は、銅版画のプロセス自体が芸術であると捉え、知的な表現を試みました。例えば「隠された音叉」シリーズでは、作家の問いかけやまなざしが、作品に柔らかに刷り込まれています。物静かで饒舌、繊細でユーモアのある作家の内面も一つの要素となり、銅版画と鑑賞者に対話が生まれます。

シンプルに見える線のシリーズは、イメージを超える新しい次元を求めて思索した時期の作品です。見る人の想像をくすぐり、心を象ります。展示にあたり、詩人の大岡亜紀氏、谷川俊太郎氏に、作品から浮かぶ言葉を書いていただきました。ご自身のイメージと合せて心と遊ぶ、参加型の展示をいたします。

銅版画には、油彩画や水墨画とは異なる表現の深さがあります。二人の作品はベクトルが違うものの、静かな引き潮のように、私たちの中にある感覚を遠くへと導き、星の光のように、その先の世界を照らします。浜口作品約20点、ブルーノ作品約50点の構成です。

Yozo Hamaguchi • Bruno Mathon Joint Exhibition • A Door One Ahead •

Copperplate engraving has a depth of expression that is different from oil painting or ink painting.

Its most distinguished mid-20th-century advocate, Yozo Hamaguchi, a Japanese artist living in Paris, developed techniques for printing colour mezzotint, ... (Encyclopaedia Britannica, mezzotint 1974)

Bruno Mathon (1938-2020)

The French painter, engraver and art critic Bruno Mathon has died aged 81. Born in Roubaix, he moved to Paris in 1958 to study filmmaking at the Institut des Hautes Études Cinématographiques (IDHEC). He then made several short films on art. In the wake of May 1968, he abandoned film making to dedicate himself to painting. From 1969, he studied engraving and widely exhibited his works in France, in Europe, and in Japan after 1993. From 1998 to 2010, as an art critic, he was a regular host of the weekly radio program *Peinture fraîche* (Fresh Paint) on France Culture. He published a novel *Et puis, et puis encore* (And then, and then again) in 2015.



浜口陽三 (魚とレモン) 1958年 26.5×48.8cm メゾチント、紙

May have no ha

浜口陽三 《さくらんぼ》(6点組) 1974年 5.5×5.5cm カラーメゾチント、紙



Bruno Mathon 《無題》 2004~2005年 9.5×14.4cm エッチング、紙



Bruno Mathon 《遅い帰り》 1993年 19.8×19.5cm アクアチント、紙

拡大図

Images and Poets

絵と言葉のかくれんぼ 詩人_大岡亜紀、谷川俊太郎(五十音順)

ブルーノ作品に寄せた谷川氏のコトバの断片と、作品の方に寄り、鑑賞する皆さまへの 問いかけのような気持ちで作った大岡氏のコトバを、作品と同じ空間に展示します。 銅版画を介した心のふれあいをお楽しみください。

Poets: Aki Ooka, Shuntaro Tanikawa

Event 1 扉の中の絵とことば

絵と言葉を綴じ込んで小さな本をつくります。 講師_空想製本屋・本間あずさ(製本家) Let's make a unique book using mathon's images and words.

Event 2 銅版画教室

初心者向け銅版画体験教室 講師_江本創(造形作家) Mezzotint class: For more details, please see the website. *カフェの期間限定セット

展覧会のイメージに寄せて プチガトーを用意いたします。 田園調布プチカヌレ専門店 COMME PARIS[コムパリ]

Special features inspired by the exhibition are available during the exhibition.

ミュゼ 浜 口 陽 三・ヤマサコレクション

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-7 Tel_03-3665-0251 HP_https://www.yamasa.com/musee/

アクセス_東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば 東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分

Musée Hamaguchi Yozo : Yamasa Collection 1-35-7 Kakigaracho, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0014 Japan



・ 主催:ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

イベントの日程は決まり次第、HPにてお知らせします。